



光・量子飛躍 フラッグシッププログラム (Q-LEAP)

第3回 シンポジウム

参加費
無料
(要事前申込)

文部科学省は、経済・社会的な重要課題に対して、量子科学技術（光・量子技術）を駆使して非連続な解決（Quantum Leap）を目指す研究開発プログラム「光・量子飛躍フラッグシッププログラム（Q-LEAP）」を平成30年度にスタートさせました。本事業では、量子情報処理（主に量子シミュレータ・量子コンピュータ）、量子計測・センシング、次世代レーザーの3つの技術領域毎に任命したプログラムディレクター（PD）の研究開発マネジメントのもと、異分野融合、産学連携のネットワーク型研究拠点を形成し、Flagshipプロジェクトと基礎基盤研究を実施しております。

今年度からは、量子情報処理（主に量子シミュレータ・量子コンピュータ）、量子計測・センシングの2つの技術領域において新たに1件ずつFlagshipプロジェクトを開始するとともに、量子技術の次世代を担う人材の育成を強化するために人材育成プログラム領域を新設し、教育プログラムの開発を推進しています。

本シンポジウムでは、これら3つの技術領域のFlagshipプロジェクトにおけるネットワーク型研究拠点の状況と研究進捗概況、および人材育成プログラム領域における共通のコアプログラムの開発進捗状況などを中心に紹介いたします。

日時

令和3年 2月22日(月) 13:00-17:00

場所

オンライン開催

参加お申込み

下のサイトよりお申込みください

<https://www.jst.go.jp/stpp/sympo/2021/q-leap.html>



プログラム

13:00-13:30

- 主催者挨拶
- 来賓挨拶
- メッセージ

文部科学省
五神 真 ガバニングボード主査 東京大学総長
Andreas Tünnemann Fraunhofer 機構 IOF 所長

13:30-14:25

- 13:30-13:35
- 13:35-14:00

▶ 各技術領域の説明 ① 次世代レーザー
領域概況 プログラムディレクター 遠藤 彰 (早稲田大学)
Flagship プロジェクト「先端レーザーイノベーション拠点」①
「光量子科学によるものづくり CPS 化拠点」
石川 顕一 (東京大学)

- 14:00-14:25

Flagship プロジェクト「先端レーザーイノベーション拠点」②
「次世代アト秒レーザー光源と先端計測技術の開発」
山内 薫 (東京大学)

14:25-15:20

- 14:25-14:30
- 14:30-14:55

▶ 各技術領域の説明 ② 量子計測・センシング
領域概況 プログラムディレクター 荒川 泰彦 (東京大学)
Flagship プロジェクト
「固体量子センサの高度制御による革新的センサシステムの創出」
岩崎 孝之 (東京工業大学) 水落 憲和 (京都大学)

- 14:55-15:20

Flagship プロジェクト
「量子生命技術の創製と医学・生命科学の革新」
馬場 嘉信 (量子科学技術研究開発機構)

15:20-15:40

休憩

15:40-16:35

- 15:40-15:45
- 15:45-16:10
- 16:10-16:35

▶ 各技術領域の説明 ③ 量子情報処理
(主に、量子シミュレータ・量子コンピュータ)
領域概況 プログラムディレクター
伊藤 公平 (慶應義塾大学)
Flagship プロジェクト
「超伝導量子コンピュータの研究開発」
中村 泰信 (理化学研究所)
Flagship プロジェクト
「知的量子設計による量子ソフトウェア研究開発と応用」
藤井 啓祐 (大阪大学)

16:35-17:00

- 16:35-16:40
- 16:40-17:00

▶ 人材育成プログラムの説明
概況 プログラムディレクター
伊藤 公平 (慶應義塾大学)
共通のコアプログラム
「量子技術高等教育拠点標準プログラムの開発」
根本 香絵 (情報・システム研究機構)